

【基礎助産学】

科目名	母子の基礎科学	講師名	①岡山医療センター医師A (20) ②岡山医療センター医師B (2) ③非常勤講師 (8)	学年	1	履修期	第1学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
授業概要	女性の健康に関する基本的な医学知識を理解し、高度医療にともなう倫理的諸問題を理解する。						
授業科目目標	1. リプロダクティブヘルスに関する医学的知識を習得する。 2. 生殖補助医療と倫理的諸問題について理解できる。 3. 生命倫理の考え方、意思決定支援について理解できる。						
授業内容	講師① 20時間 (試験1H含む) 第1～2回 1. 生殖器系の発生、形態・機能 第3回 2. 生殖生理と内分泌 第4回 3. 妊娠成立の機序、胎児胎盤機能 第5回 4. 生殖に関連した疾患 1) 思春期 第6回 2) 成熟期 3H 第7回 3) 更年期 4) 老年期 第8回 5. 生殖補助医療と諸問題 第9回 6. 母子と免疫、母子感染 講師② 2時間 第10回 7. 遺伝と遺伝性疾患 1) 先天異常、染色体異常 2) 遺伝性疾患の分類 3) 出生前診断と遺伝カウンセリング 講師③ 8時間 第11～14回 8. 生命倫理 終了試験 1H					講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	
評価方法	筆記試験 講師① 65点 講師② 5点 講師③ 30点						
テキスト	助産学講座1 基礎助産学[2] 母子の基礎科学 医学書院						
参考書	授業中に適宜提示する 講師③著書 清水哲郎・会田薫子監修、日笠晴香・圓増文著『子宮内膜症で悩んでいるあなたへ 意思決定プロセスノート』医学と看護社、2018年。						
学生へのメッセージ	妊娠の生理やヒトの染色体・遺伝子の仕組みなどリプロダクションの基礎知識を確実に身につけて下さい。本講義は「助産診断・技術学」の科目群の学習内容の基盤となります。受講にあたっては助産学テキストのみでなく、看護基礎教育で使用した母性看護学のテキストも復習をしておいて下さい。						